

経営比較分析表（令和6年度決算）

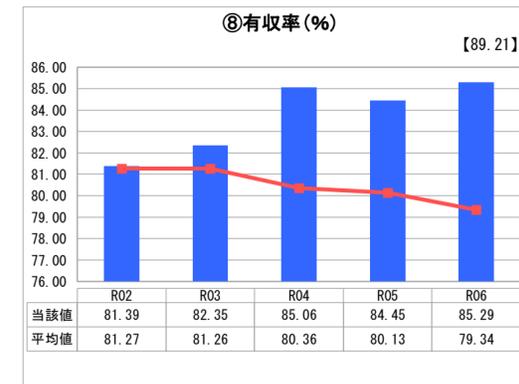
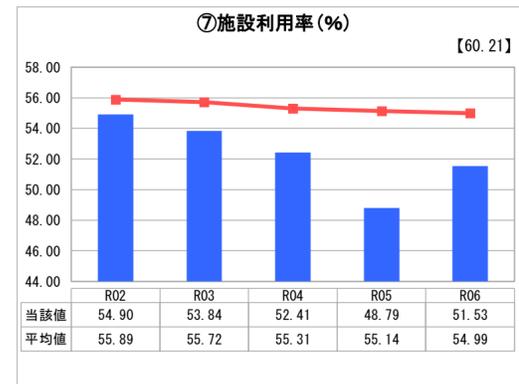
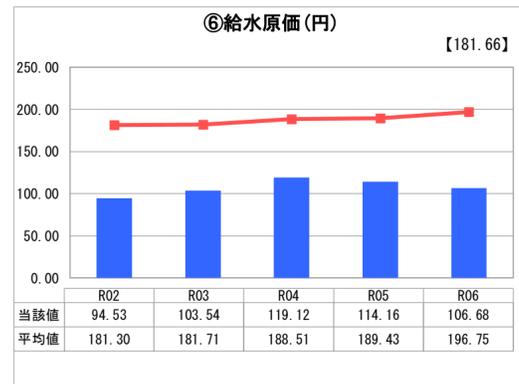
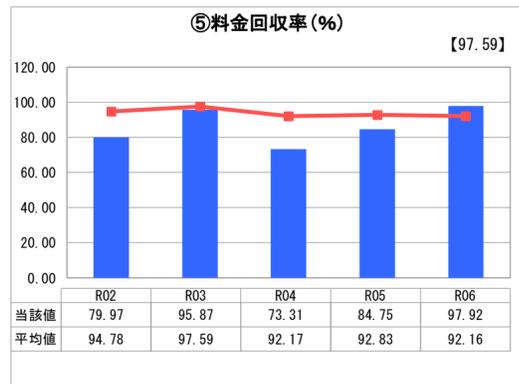
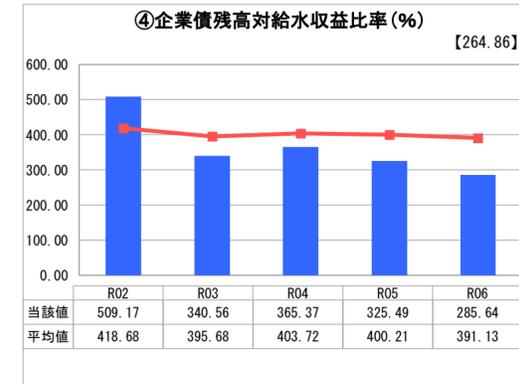
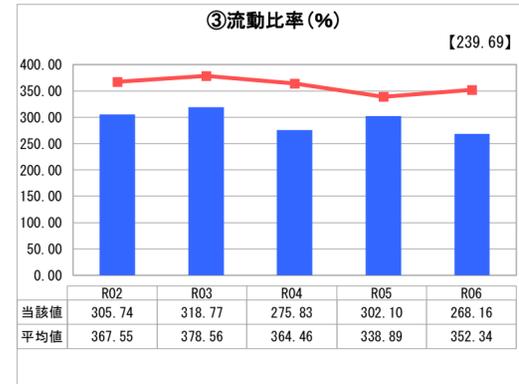
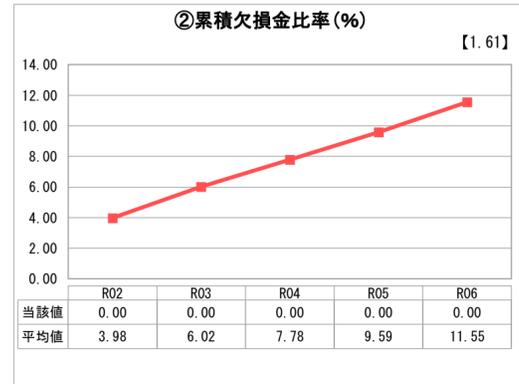
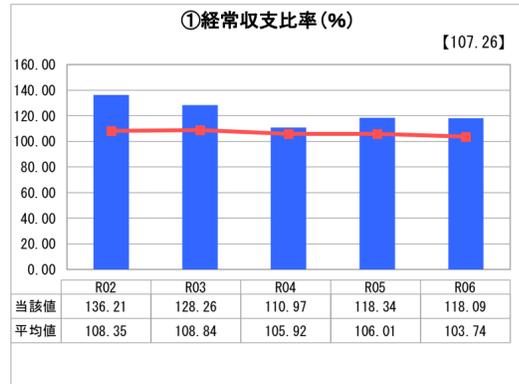
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	74.13	99.75	2,255	

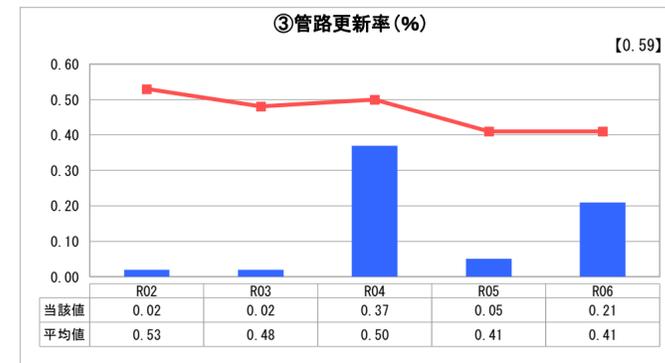
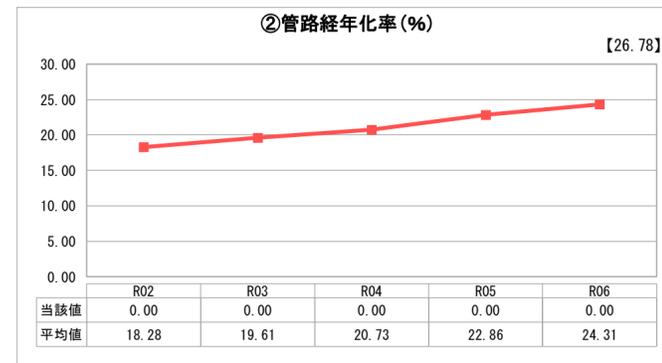
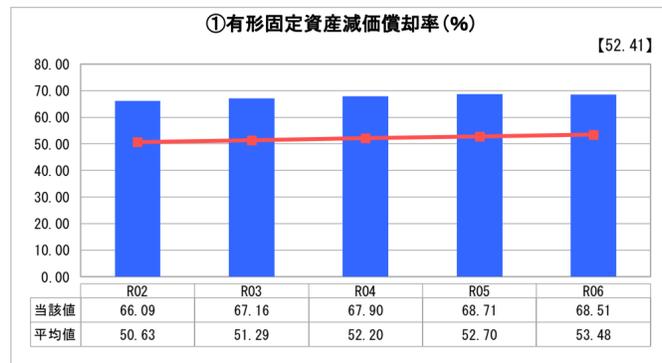
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,644	94.43	186.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,499	76.60	228.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、単年度収益で黒字を確保し、類似団体平均値も上回っています。⑤ 料金回収率は類似団体平均値を上回っており、物価高騰対策事業として水道料金基本料等を4ヶ月分減免し補填分を営業外収益の他会計補助金として受け入れた前年度と比較し、13.17ポイント改善しています。ただし今後の更なる施設更新等に充てる財源確保のため、経営戦略の見直しを図るとともに料金改定の検討を行ってまいります。

③ 流動比率は、前年度と比較し33.9ポイント減となり、依然として類似団体平均との乖離が大きいことから、大規模な建設改良等、多額の現金を必要とする支出の際は、改めて費用の平準化を検討することで流動比率の安定化を図っていく。

④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っています。企業債残高は償還進捗により年々減少していますが、今後、管路更新等を行う場合は計画的に新規借入を行ってまいります。

⑥ 給水原価は類似団体平均値を大きく下回っていますが、今後の大規模な施設更新等を視野に入れた経営戦略の見直しを図り、更なる経営改善を行ってまいります。

⑦ 施設利用率は前年度と比較して微増となりましたが、類似団体と比較して施設規模に余裕があり、安定的な運転管理ができています。

⑧ 有収率は前年度と比較して微増となり、類似団体平均値も大きく上回っています。今後も漏水調査業務を継続し、更なる有収率向上に努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は65%を上回っており管路・施設の老朽化が進行しています。また、類似団体平均値についても上回っています。今後は設備の更新や管路の耐震化を適切に行っていくと共に、施設維持に見合った供給単価を設定することで財源確保にも努めてまいります。

全体総括

現在の経営状況は、現状では安定的な経営が維持されていますが、今後は人口減少等による給水収益の減少や、施設の老朽化による修繕費の増加が予想されます。計画的な施設等更新の実施を行っていくと共に、令和2年度に策定した上水道事業経営戦略の改定を行い、本事業における資金状況を明らかにし、適正な料金算定を行うことで経営健全化、事業効率化を進めてまいります。また、経営状況を可視化し、住民への周知及び理解をより一層図ります。